

心温まる手作り弁当

一人暮らしの方々に届ける



一般老連のボランティア活動の一環として、般若地区高齢者学級との共催で、十二月四日改善センターにおいて健康食の調理講習・一人暮らし会員への弁当届けが行われました。



各老人会より二名ずつ計十名の女性会員が、生活改善推進員の三門明さち子さん、平瀬清美さん、竹林ひろみさんの指導で、根菜類の煮物、ひじきずし、豆腐ハンバーグなどの高齢者向け健康食を調理し、出立に立って、一般老連役員の手で地区内の一人暮らし会員などのもとに届けて賞味して頂きました。

法話「後生の一大事」

般老連・高齢者学級



余りが参加して開催されました。後生の一大事といういささか難解なテーマを、「お袋の味」や「愛と死を見つめて」の挿話などを交えて分かり易くお教え頂き、それこそ心豊かなひとときを過ごさせて頂きました。

般若地区高齢者学級の講座、「法話・後生の一大事」は、十二月十日改善センターで、講師に大門町市井光昭寺住職の公文名眞師を迎え、会員七十名



和気あいあいと 年忘れの会

サミ子、林たみ子、林満の七人の喜寿を迎えられた会員の方々に祝品が贈呈されました。本番の懇親会では今年には会員の林孝進さんのご好意で、本格的なカラオケ・セット一式を借用し、男子役員総かかりで行ったような工夫が盛り上がるように運び込んで、座が盛り上がりようがされました。

平成十七年度の光寿会行事の掉尾を飾る忘年会が、十二月八日午前十時から、いかるぎ館において開催されました。今年には、例年外部講師を招いて聞いていた講話の代わりに、光寿会の自主講座「ボケに挑戦」が企画され、ビデオ「痴呆症の早期発見と予防」、チェックリストによるボケ度合の自己診断、ボケ予防の簡易な体操「フリフリグッパ」などが行われました。懇親会に先立って林年春、八田俊雄、林ちづ子、林初子、八田イ



ビデオ「痴呆症の早期発見と予防」



痴呆の予防フリフリグッパ体操

中気雰か和りに会あ杯で音長元孝 た。での囲なや、移食との乾頭の会一林



役員による麦屋踊り

話に花が咲きました。カラオケやら男子役員総出演の民謡踊りやら、合唱やら、林会長の即席手品に三門明子さんが挑戦して満場の喝采を浴びるやらで、笑いのうちにあつという間の二時間が過ぎました。林年春前会長の万歳三唱のあともしばらくカラオケなどを楽しまし、み、二時半頃目出度く打ち上げました。

講演会案内  
2月18日(土)  
般若改善センター  
「老い」を生きるか  
どう生きるか  
講師 元富山県教育長 飯田宗映先生  
主催 般若老人連連合会 般若高齢者学級

林 慶彦 様  
十二月十二日死去  
享年九十五歳  
謹んでご冥福をお祈りいたします

林 秀松 様  
十二月十六日死去  
享年八十七歳  
謹んでご冥福をお祈りいたします

愛

「今年を越しましたが昨年(二〇〇五年)の「健やかな成長と女帝容認の話題がこの文字の選ばれた最大の理由ですが、ほかにも「愛・地球博」の成功や、卓球の福原愛ちゃん、文字は違うものの、ゴルフの宮里藍(アイ)の活躍など、「愛」が選ばれるに相応しい年ではありました。

しかし反面、二〇〇五年、平成十七年は、幼い女児の命が無惨に奪われる痛ましい事件が続発したり、偽装建築事件が明るみに出たりして、とても「愛」という文字に象徴させる事の出来ない暗い出来事の多い年でもありました。

それでもなお「愛」という一文字にこの年一年の思いを託そうとしたところに、庶民の切ない思いがにじみ出ているように思えます。

願わくば二〇〇六年、平成十八年が、振り返って本当に心から佳い年であったと言えるような一年となることを願わずにはおれません。